

令和7年度 事業報告書及び附属明細書



社会福祉法人阿賀町社会福祉協議会

基本理念

1. 住民参加・協働による福祉社会の実現
2. 地域における利用者本位の福祉サービスの実現
3. 地域に根差した総合的な支援体制の実現
4. 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆみない挑戦

総括

本会では、令和7年度から「みんながしあわせに暮らしてつづける町 あがまち」を基本理念とし様々な人たちが、地域で共に生きていけるまちの実現を目指す「第1期阿賀町地域福祉活動計画」をもとに事業の展開を進めてきた。

令和6年能登半島地震の発生など、頻発する自然災害等を踏まえ、有事における社協の役割が果たせるように危機管理体制の強化に努めたが、災害ボランティアセンター設置研修の開催と社団法人五泉阿賀青年会議所と災害支援協定の締結はできたものの、法人事業継続計画（BCP）は完成せず、次年度継続とした。

指定管理事業を含む介護保険事業等の在宅福祉サービスについては、中山間地で利用者の確保が難しい地域においても、「地域包括ケアシステム」の実現に向けて福祉の拠点を維持できるよう事業所の維持を検討してきたが、特に令和5年度以降続く収益の大きな減少により、法人の財政は厳しい状況におかれたため、令和8年4月1日から上川デイサービスセンターを地域密着型通所介護事業に移行、また、令和8年4月末をもって鹿瀬デイサービスセンターを廃止し、3事業所から2事業所に統廃合した。

事業所の統廃合に合わせて、さらに経営改善計画の見直し、事業所の統廃合に合わせて人員整理を行い、経営改善を厳しく実施した。

～みんながしあわせに暮らしてつづける町 あがまち～

- I. 社協組織の基盤強化
- II. みんながお互いさまといえるまちづくり
- III. みんなでまもり、支えあうまちづくり
- IV. みんなでつながり、育みあうまちづくり
- V. 安心・安全な介護・生活支援サービスの提供

事業報告

法人運営

I 社協組織の基盤強化

1. 持続可能な地域福祉の拠点づくり

(1) 職員が健康で個人の力を最大限発揮できるよう、ストレスチェックシートや個別面談等により職員の労働安全衛生に関する把握に努めた。

- 個別面談では、特に通所介護事業の職員は事業所の統廃合も関連し、全員2回以上実施したところだが、法人部門の職員の一部は面談を実施できなかった。
- ストレスチェックでは14%が高ストレスと判定されたが、個別面談の希望者はいなかった

(2) 社協会費は住民の身近な地域福祉活動に活用させていただくため、封筒方式による全戸配布と事業所等訪問による特別会員（事業所会員）の協力依頼に取り組み、自主財源の確保に努めた。特に、サロン開催地域では会費事業の周知を図った。

一般会員 500 円／賛助会員 1,000 円／特別会員 2,000 円

区分	令和6年度		令和7年度		前年比（金額）
	加入数	金額	加入数	金額	
一般会員	2,168	1,059,884	2,039	1,000,959	94.4%
賛助会員	115	121,000	115	119,000	98.3%
（加入率）	54%		52%		
特別会員	104	249,500	101	230,000	92.2%
合計		1,430,384		1,349,959	94.4%

※世帯数 令和6年4月1日現在 4,225 / 令和7年4月1日現在 4,136

「新潟県 市町村別人口・人口動態及び世帯数（総数）調査」

《社協会費の推移》

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1,742,600 円	1,616,087 円	1,528,909 円	1,430,384 円	1,349,959 円
2,815 件	2,588 件	2,371 件	2,387 件	2,255 件

《赤い羽根共同募金の推移》 ※参考

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
3,090,118 円	2,772,658 円	2,489,436 円	2,483,129 円	2,419,782 円
2,598 件	2,445 件	2,258 件	2,205 件	2,055 件

(3) 公共施設の管理運営（指定管理及び受託管理）は、それぞれの施設の設置目的が果たせるように事業に対し便宜を図り、利便性等を確保した。施設が良好な状態で使用できるよう努めたが、空調設備が設置年数の経過により部品供給が不可能となり、多くの部屋で空調が故障し使用できない状況となったが、町と協議し代替品を確保しながら使用してきたところで、令和8年度に空調機器更新工事が予定された。

- 阿賀町総合福祉保健センター やまぶきの里

内容等	人数
保健関係事業（乳児健診、ことばの相談会、にこにこ教室ほか）	1,310人
福祉関係（包括支援センター、介護者のつどい）	47人
社協関係（ふれあいデイサービス、身体障害者福祉協会ほか）	3,169人
その他（シニア食堂、地域と語る会、ボランティア団体ほか）	413人

- 阿賀町老人福祉センター さわやかホーム角神

項目	内容等	人数
つどいの場事業	深戸元気クラブ（31回）	239人
総合事業	ふれあいデイサービス阿賀（49回）	723人

- 阿賀町高齢者生活福祉センター

項目	内容等	人数
選挙投票所	9/16 参議院議員	1回

- 阿賀町高齢者生活支援ハウス（利用なし）

- 津川デイサービスセンター（別項）
- 鹿瀬デイサービスセンター（別項）
- 上川高齢者生活福祉センター（別項）
- 上川高齢者ふれあい会館

項目	内容等	人数
選挙投票所	9/16 参議院議員 3/2 衆議院議員総選挙	38人
他団体	七福まつり準備（踊り練習）	20人
総合事業	ふれあいデイサービス阿賀（97回）	1,055人

2. 財務の適正な運営

(1) 年1回の監事による内部監査と、年3回の税理士法人による、より高度な会計・経理に関する外部監査を実施し、適正な財務運営に努めた。

内部監査		外部監査	
5月29日	事業報告等	5月14日	財務三表整合性、預貯金勘

	計算関係書類・財産目録等	9月14日	定・財産科目の残高、伝票 追加・修正、介護事業損益 状況・資金収支状況、経営 分析など
		1月19日	

3. 危機管理体制の強化

災害時における社協が担う役割を実行できるように災害ボランティアセンター設置マニュアルの更新と訓練に取り組んだ。

- (1) 法人の事業継続計画（BCP）は未完成のため作成を継続する。
- (2) 災害ボランティアセンター設置マニュアルを更新し、災害ボランティアセンター設置研修会（9月27日：町公民館 詳細は別項）を開催した。

4. 会議・委員会等

- (1) 法人運営や事業の適正な運営をめざし、各種会議・委員会を開催した。

- ・ 理事会 定時（6月） 臨時（随時）

第1回 ※書面により開催	
第1号議案	・阿賀町社会福祉協議会理事補欠候補者の推薦について
第2回 6月10日 出席理事：6名 監事：1名	
第2号議案	・令和7年度第1号補正予算について
第3号議案	・職員給与の支給に関する規程の一部改正について
第4号議案	・職員就業規程の一部改正について
第5号議案	・育児・介護休業に関する規程の全部改正について
第6号議案	・令和6年度事業報告について
第7号議案	・令和6年度収支決算について
第8号議案	・役員候補者の選任について
第9号議案	・評議員候補者の推薦について
第10号議案	・評議員選任・解任委員の選任について
第11号議案	・評議員選任・解任委員の招集について
第12号議案	・令和7年度定時評議員会の招集について
報告事項	・社会福祉充実残額について ・会長職務執行状況について ・経営改善計画について
第3回 6月27日 出席理事：7名 監事：1名	
第13号議案	・会長及び副会長の選任について
第14号議案	・評議員選任・解任委員の選任について
第4回 8月4日 出席理事：6名 監事：2名	
第15号議案	・財政調整積立金の取り崩しについて

第 16 号議案	・令和 7 年度第 2 号補正予算について
第 17 号議案	・臨時評議員会（第 2 回）の招集について
第 5 回 ※書面により開催	
第 18 号議案	・社会福祉功労表彰者の決定について
第 6 回 11 月 28 日 出席理事：5 名 監事：2 名	
第 19 号議案	・通所介護事業の収支に係る今後の取り組み方針の決定について
第 7 回 12 月 17 日 出席理事：7 名 監事：2 名	
第 20 号議案	・通所介護事業の収支に係る今後の取り組み方針の決定について
第 21 号議案	・地域福祉事業積立金の取り崩しについて
第 22 号議案	・令和 7 年度第 3 号補正予算について
第 23 号議案	・臨時評議員会（第 3 回）の招集について
第 8 回 3 月 27 日 出席理事：7 名 監事：2 名	
第 24 号議案	・職員就業規程の一部改正について
第 25 号議案	・臨時職員等就業規程の一部改正について
第 26 号議案	・経理規程の一部改正について ※取り下げ
第 27 号議案	・上川高齢者生活福祉センター運営規程の一部改正について
第 28 号議案	・鹿瀬デイサービスセンター運営規程の廃止について
第 29 号議案	・令和 8 年度事業計画（案）について
第 30 号議案	・令和 8 年度収支予算（案）について
第 31 号議案	・施設の長の変更承認について
第 32 号議案	・臨時評議員会（第 4 回）の招集について
報告事項	・定款変更について ・会長職務執行状況の報告について ・経営改善計画の進捗報告について ・令和 8 年度組織体制について

- ・ 評議員会 定時（6 月） 臨時（3 月及び必要がある場合）

臨時（第 1 回） ※書面により開催	
第 1 号議案	・阿賀町社会福祉協議会理事補欠候補者の選任について
定時 6 月 27 日 出席評議員：5 名 役員：2 名	
第 2 号議案	・令和 7 年度第 1 号補正予算について
第 3 号議案	・令和 6 年度事業報告について
第 4 号議案	・令和 6 年度収支決算について
第 5 号議案	・理事及び監事の選任について
報告事項	・社会福祉充実残額について ・職員給与規程の一部改正について ・職員就業規程の一部改正について

	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業規程の全部改正について ・経営改善計画について
臨時（第2回）	8月8日 出席評議員：8名 役員：1名
第6号議案	・財政調整積立金の取り崩しについて
第7号議案	・令和7年度第2号補正予算（案）について
臨時（第3回）	1月9日 出席評議員：7名 役員：1名
第8号議案	・地域福祉事業積立金の取り崩しについて
第9号議案	・令和7年度第3号補正予算（案）について
臨時（第4回）	3月27日 出席評議員：7名 役員：1名
第10号議案	※番号を使用しなかったため、議案なし
第11号議案	・定款の一部変更について
第12号議案	・令和8年度事業計画（案）について
第13号議案	・令和8年度収支予算（案）について
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・規程の一部改正について ・経営改善計画の進捗報告について ・令和8年度組織体制について

- ・ 監事会 決算監査（5月） 中間監査（必要時）

5月29日	
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告等の監査 ・計算関係及び財産関係

- ・ 評議員選任・解任委員会

6月13日 委員全員出席	
	・評議員の選任について

- ・ 福祉サービス苦情解決委員会（年1回）

2月20日	
	<ul style="list-style-type: none"> ・時間別発生状況について ・事案報告8事案

- ・ ボランティアセンター運営委員会（年3回）

5月23日	
	<ul style="list-style-type: none"> ・正副委員長選出 ・令和6年度事業報告について ・令和7年度事業計画について ・エリア部会による検討

10月15日	
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度事業実施中間報告について ・企画部会、活動支援部会による検討
2月27日	
	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度事業実施中間報告について ・令和8年度事業計画について ・企画部会、活動支援部会による検討

- ・ 法人後見事業運営委員会 (随時)

6月23日	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正副委員長選出 ・ 受任審議1件 ・ その他

- ・ 地域福祉活動計画推進会議 (年1回)

2月13日	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正副委員長選出 ・ 基本目標ごとの進捗報告について (社会福祉協議会・行政) ・ 地域座談会の開催について

- ・ 代表者会議 (毎月1回)
- ・ 施設長会議 (毎月1回)
- ・ 地域福祉係専門員会議 (毎月1回)
- ・ 介護支援専門員検討会 (毎月1回)
- ・ 主任生活相談員会議 (毎月1回)
- ・ 看護職員連携会議 (毎月1回)
- ・ 感染症対策委員会 (随時)

7月1日	夏の感染症対策について
9月3日	冬季間の感染症対策について
1月29日	冬季間の感染症対策の評価等について
3月30日	次年度の委員構成と活動について

- ・ 高齢者虐待防止委員会 (身体拘束適正化委員会)

6月24日	法人内部研修企画について
7月15日	法人内部研修企画について
9月9日	法人内部研修企画について
10月17日	法人内部研修実施

5. 受託事業等

(1) 生活支援コーディネーター事業

・ 会議・研修等

会議名	日にち
社協・包括連携会議	・ 4月17日 ・ 6月26日 ・ 8月28日 ・ 10月30日 ・ 1月15日 ・ 3月26日
自立支援型地域ケア個別会議	・ 7月18日 ・ 9月19日 ・ 11月21日
介護支援専門員連絡会議	・ 4月4日
阿賀町生活支援体制整備事業第1回協議体	・ 2月13日
新潟県生活支援体制整備事業研修会	・ 8月8日
新潟県多様な居場所活動交流会	・ 9月25日
新潟県生活支援体制整備アドバイザー派遣事業報告会	・ 2月13日

・ 地域活動支援業務

<p>①あがまちはつらつシニアガイドブック（令和7年度版）の作成</p> <p>高齢者の生活をサポートする目的で作成したガイドブックの内容を更新し、高齢者の「見守り」に関わる事業・制度を追記し、300部作成した</p> <p>【普及活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、医療機関等関係機関 36カ所に訪問して説明 ・ 福祉フェスティバル、サロン交流会参加者に配布 ・ 民生委員児童委員に周知・配布 ・ 介護支援専門員に周知・配布 ・ 公民館・体育館・温泉施設に設置
<p>②地域の支え合い活動の推進</p> <p>阿賀町見守りフォーラム 「災害に生きる地域のつながり・見守り合い」</p> <p>講師：にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄氏</p> <p>11月1日 阿賀町公民館</p> <p>福祉学習と連携した地域座談会や講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西区 6月13日、7月29日、10月7日 ・ 当麻区 6月13日、7月31日、10月26日 ・ 谷沢区 7月31日、10月9日、11月10日、11月16日

③いきいきサロンの活動支援
サロン交流会の開催 2月19日
<ul style="list-style-type: none"> ・ 阿賀黎明高校2年生によるサロンについての研究と実践発表 ・ 田上町における集い場「みんなの茶の間 つなぎが～や」の取り組みと実践発表 ・ サロン活動者の情報交換会

(2) 配食サービス事業 (102回)

	津川地区	鹿瀬地区	上川地区	三川地区	合計
利用者延べ人数	447	228	166	248	1,089
令和6年度	421	256	125	245	1,047
延べ配布数	3,470	1,819	1,100	1,815	8,204
令和6年度	3,261	1,928	800	1,833	7,822

(3) 生活支援移送サービス

	津川地区	鹿瀬地区	上川地区	三川地区	合計
利用実人数	13	5	4	3	25
令和6年度	12	8	4	0	24
利用延べ人数	33	24	7	7	71
令和6年度	46	26	10	0	82

(4) 身体障害者等タクシー利用料助成事業

	津川地区	鹿瀬地区	上川地区	三川地区	合計
台帳登録人数	17	7	0	6	30
令和6年度	19	9	0	8	36
利用実人数	13	5	0	3	21
令和6年度	13	5	0	4	22
利用延べ人数	131	50	0	28	209
令和6年度	120	45	0	42	207

地域福祉事業

II みんながお互いさまといえるまちづくり

1. お互いさまで支え合うしくみづくり

(1) 地域の支え合い活動の推進

① ボランティア交流会を開催し、支え合い活動に関心を持つきっかけづくりを行った。

<ul style="list-style-type: none"> ボランティア交流会開催 防災をテーマに食推によるビニールクックや学生ボランティアコウノトリが防災ゲームの進行を担い、町内のボランティア個人・団体の活動紹介をし、交流を深め、施設職員とボランティアのマッチングが出来た。 	参加者 21 名 事業所 8 名
<ul style="list-style-type: none"> ボランティアセンター運営委員会を開催し、ボランティア講座や交流会の企画等を行った。 	3 回
<ul style="list-style-type: none"> 昨年のボランティア講座（地域支え合いの集い～雪かき編）後、深戸地区へ再アプローチを行い、除雪の支え合い活動が始動した。（令和8年1月～） 	県社協広報誌 「福祉にいがた1月号」掲載

《ボランティア活動者登録数》

個人	107 名
団体	4 団体（71 名）

《みんなでささエール事業実績》

活動内容	合 計	前年度実績
ゴミ出し	5	0
片付け	0	5
雪かき・道つけ	90	59
灯油の給油	43	28
見守り	0	69
話し相手	0	27
買い物代行	0	17
外出付き添い	13	7
その他	7	3
合 計	158	215

② 生活支援養成講座の開催（令和8年度）にむけて関係者と協議の機会を設けた。

<ul style="list-style-type: none"> 令和8年度開催の生活支援ボランティア養成講座（傾聴、 	
--	--

<p>片付け、認知症・介護）をボランティアセンター運営委員会等で開催予定の企画を検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2月17日 町主催のゲートキーパー養成講座に傾聴のスキルアップとして、高齢者配食ボランティア活動者が参加した。 	4名
---	----

③ 移動を支援する仕組みとして、社会福祉法人等の空き車両の地域への活用について次年度検討することとした。

<ul style="list-style-type: none"> 今後、移動に関する仕組みや協議体等の情報収集を行い令和9年度の検討の場づくりの準備をしていく。

(2) 生活支援体制整備事業・はつらつシニアガイドブックの普及・充実

① 生活支援コーディネーターとして「はつらつシニアガイドブック」の普及を図り、生活の困りごとと地域資源をつなげるように努めた。

<ul style="list-style-type: none"> はつらつシニアガイドブックの内容を更新し、「見守り」の支援項目を追加し、関係機関（行政・福祉事業所・医療機関）36か所に説明訪問し、普及を図った。 12月に開催された民生委員児童委員新任研修にて、説明、配布を行い、情報のつなぎ役として依頼した。
<ul style="list-style-type: none"> 生活の困りごとや地域資源の把握、課題検討の場に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> 協議体の開催（年1回） 地域包括支援センターとの連携会議（年6回） 地域ケア個別会議へ参加（年3回）

② 助成事業による地域活動団体の支援

<ul style="list-style-type: none"> 助成団体と社協事業に参加する機会をつくったり、活動団体の総会へ参加するなど、連携が出来た。 町老連、町身障、町育成会、おやG'sキッチン、阿賀町暮らしネットに赤い羽根共同募金から団体へ助成実施。 	5団体
--	-----

2. 見守り合える関係づくり

(1) 誰でも気軽に交流できる場づくりの推進

① あらゆる世代におけるサロンの立ち上げ支援を継続した。

<ul style="list-style-type: none"> サロン実施地区 サロン事業助成要綱を見直し、新規立ち上げ支援助成を新たに設けた。令和8年4月新規立ち上げに向けて支援を行った。 	30か所 休止中1か所
--	----------------

<ul style="list-style-type: none"> 集う場づくりに関心のある西地区やサロン活動を休止中の当麻区、サロンを解散した谷沢区へアプローチをした。小学校や高校の総合的な学習と連携し、地域座談会を開催し支援に取り組んだ。集いたい意向はあるがサロンの再開にはつながらなかった。 <p>【西区へのアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月13日 地域座談会「食と見守り」 高校生と地域住民 7月29日 夏野菜カレー作り 10月7日 防災講座 西区 <p>【当麻区へのアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月13日 地域座談会「食と見守り」 高校生と地域住民 7月31日 笹団子作り 10月26日 かのせ産業まつり <p>【谷沢区へのアプローチ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月31日 地区代表者と打合せ(講座内容、余剰野菜の販売) 10月9日 三川小学校総合的な学習の時間 まち探検地域交流企画 11月16日 防犯教室 阿賀黎明高校生企画 11月10日 三川小学校1・2年花植え交流 	<p>住民5名 学生4名 住民14名 学生3名</p> <p>住民9名 学生7名 住民7名 学生6名 学生2名</p> <p>児童11名 住民13名</p> <p>住民15名 学生2名 住民8名 小学生24名</p>
---	--

■いきいきサロンの状況

	津川地区	鹿瀬地区	上川地区	三川地区	合計
実施地区数	9	3	5	12	29
令和6年度	9	3	5	12	29
利用延べ人数	1,040	279	606	1,003	2,928
令和6年度	1,020	239	459	997	2,715

(2) 誰も孤立しない、見守るしくみづくりの構築

① 地域で見守り合う意識を啓発できる講座を開催した。

<ul style="list-style-type: none"> 災害時に生きる地域のつながりや見守り合いをテーマに実際の災害経験を聞き、日頃からの支え合い、見守り合いの地域づくりの講座を開催した 11月1日 あがまち見守りフォーラム 講師：にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李仁鉄氏 トークセッション 話し手 吉津区長 杉山誠氏 参加者へのアンケート結果から、災害時の備えとして、日頃からの地域のつながりや災害時の避難方法への関心が高かった。 	参加者 57 名
---	----------

② 子どもから高齢者まで誰もが地域内で孤立することがないように、地域、民間団体、行政と協働し見守り体制の仕組みづくりに努めた。

<ul style="list-style-type: none"> 生活の困りごとや地域資源の把握、課題検討の場に参加した <ul style="list-style-type: none"> ・協議体の開催（年1回） ・地域包括支援センターとの連携会議（年6回） ・地域ケア個別会議（年3回） 	
---	--

Ⅲ みんなでまもり、支えあうまちづくり

1. “まもる” 情報発信の充実

(1) わかりやすい情報の発信

<ul style="list-style-type: none"> 社協だより「よつば」92号、ホームページで法人後見制度、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、小口資金貸付事業など困りごと相談の窓口を紹介し情報発信に努めた。 相談を受け止める関係機関への働きかけとして、4月に介護支援専門員向けに、12月には、新任の民生委員児童委員向けに、社協の事業説明を行い相談窓口についての情報発信を行った。 FACEBOOK 発信 フォロワー541人 公式 LINE 発信（ボランティア情報） 友だち 57人 SNS を通じた相談機能の発信や若い世代への発信に、 	<p>事業所 32 回 地域福祉 16 回 地域福祉 15 回 地域福祉 3 回</p>
--	--

<p>Instagramの導入を1月から開始。 フォロワー101人</p> <ul style="list-style-type: none"> • こども・健康推進課発行の「こころの相談窓口」の一覧に社協が「くらしの相談」の相談先として掲載された。 • よろず相談会への参加 	1回
--	----

(2) 地域に出向く専門職による情報の発信

① ふれあい・いきいきサロン等で、住民向けに専門職等が講話する機会をつくった。

<ul style="list-style-type: none"> • 保健師健康講座（フレイル講座含む） • 後見センターによる人生会議（権利擁護事業も含め） • 包括支援センターによるフレイル講座 • 認知症地域支援推進員による認知症サポーター養成講座 • 認知症地域支援推進員による認知症カフェ • 三川しんあい園（認知症カフェ） • 三川しんあい園地域リハビリ研修 • 薬剤師によるお薬講話 • 身近な集会所で行ういきいきサロンに専門職が出向くことによって、相談がしやすく、地域で話しあう機会ができた。 	<p>サロン 19 か所</p> <p>サロン 5 か所</p> <p>サロン 2 か所</p> <p>サロン 5 か所</p> <p>サロン 2 か所</p> <p>サロン 2 か所</p> <p>サロン 2 か所</p> <p>サロン 2 か所</p> <p>サロン 6 か所</p>
---	--

② 情報をキャッチする方法として高校生によるスマホ講座を開催して、情報を得られるよう働きかけに努めた。

<ul style="list-style-type: none"> • 学生ボランティア団体コウノトリによるスマホ講座をやまぶきの里にて開催した。9月の開催時には、阿賀町総務課 DX 推進係も参加し、阿賀町アプリの普及をおこなった。情報発信として阿賀町ボランティアセンターの公式 LINE や広報誌よつばでその内容を発信した。また、阿賀町議会だよりにも紹介され、参加者も増加傾向である。 	8回
---	----

2. 相談体制の充実

(1) 地域へ出向き地域の皆さまとの顔の見える関係の構築

① ふれあい・いきいきサロン等、住民が集まる機会を活用し、関係機関と連携し情報発信に努めた。

<ul style="list-style-type: none"> • 居宅介護支援専門員による相談 • 小規模多機能型施設 相談会 • 社協介護事業所 <p>介護事業所が地域に出向き、家族や地域の介護への不安や相談を受け止める機会を持った。</p>	<p>サロン 5 か所</p> <p>サロン 2 か所</p> <p>サロン 1 か所</p>
---	---

- ② 社会福祉協議会や福祉事業所が行う介護保険や障がい福祉等の事業を通じて、利用者のみならず、その家族などが抱える困りごとにも目を向けて支えていけるよう努めた。

<ul style="list-style-type: none"> 相談実績：生計・困窮に関する相談 生活支援に関する相談 権利擁護に関する相談 	新規 31 件 継続 77 件 新規 37 件 継続 25 件 新規 12 件 継続 51 件
<ul style="list-style-type: none"> 小口資金貸付事業の実施 	貸付 5 件（新規相談 16 件、償還支援 3 件）
<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金貸付事業の実施 	貸付 0 件（新規相談 5 件、償還支援 3 件）
<ul style="list-style-type: none"> コロナ特例貸付事業の実施償還支援 	償還支援 3 件
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活自立支援事業の実施 	新規相談 2 件 新規契約 1 件 現任 5 件
<ul style="list-style-type: none"> 法人後見事業の実施 法人後見運営委員会開催 1 回 	新規相談 2 件 新規受任 1 件 終了 1 件 現任 6 件
<ul style="list-style-type: none"> ふれあい・いきいきサロン等、住民が集まる機会を活用して、町成年後見センターと連携し、制度の周知に努めた。 	サロン 1 か所
<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者自立支援会議に出席 	2 回
<ul style="list-style-type: none"> 様々な困難ケースに対応するため、相談機能のスキルアップのための研修への参加や社会福祉士ソーシャルワーク実習の受け入れによって相談援助業務の向上を図った。 	県立大学 1 名 (182 時間)
<ul style="list-style-type: none"> 生活福祉資金に関する研修参加 	2 回
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活自立支援事業 生活支援員研修開催 	1 回
<ul style="list-style-type: none"> 県社協日常生活自立支援事業 生活支援員研修参加 	1 回
<ul style="list-style-type: none"> 県社協日常生活自立支援事業 専門員研修参加 	2 回
<ul style="list-style-type: none"> 県内社協法人後見研修事例発表 	1 回

3. みんなで障がいの理解

(1) 認知症や障がいの理解を深めるための普及啓発

- ① 福祉学習や福祉フェスティバル等のイベントを活用して、福祉団体・事業所と連携し、活動の周知・啓発を行い障がいの理解に努めた。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校では、「心のユニバーサルデザイン」をテーマに高齢者疑似体験、障害当事者からの講話、地域に出向く体験交流型の福祉教育を展開した。 ・ 高齢者疑似体験 ・ 障害者疑似体験 ・ 障害者への理解（当事者講話・交流） 	<p>2校</p> <p>2校</p> <p>1校</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉フェスティバルでは、町内の2法人の障害事業所の紹介、展示、出店スペースを設けた。午前中の健康フェスティバルでも展示、出店を行った。 	<p>来場者 計 138名</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害事業所の行事（だんごさし）や花植えなどを地域のボランティアと交流の機会をコーディネートした。 	<p>2か所</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 24時間チャリティ募金活動では、中高生ボランティアと一緒に、障害事業所利用者の方と街頭募金活動を実施した。 	<p>学生 5名 事業所 4名</p>

(2) 福祉団体の活動支援

- 赤い羽根共同募金助成を活用して地域活動を支援した。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 手をつなぐ育成会 共同募金助成 ・ 身体障害者福祉協会事務局として、身体障害者当事者同士の交流の場づくりを支援した。また五泉市身体障害者福祉協会との交流会や新潟ふれあいプラザでのミュージックふれあい交流会など他市町村との当事者交流を図る支援を行った。 	<p>団体助成 2団体</p>
--	---------------------

4. 防災を学び合うことを通じた支えあいづくり

(1) 災害に備える体制づくりの推進

- ① 関係機関と連携し、災害ボランティアセンター設置訓練を実施することで、災害に備えた体制づくりを進めた。



<ul style="list-style-type: none"> 9月27日 阿賀町災害ボランティアセンター設置研修を開催 講師：にいがた災害ボランティアネットワーク 李理事長 内容：講義「災害ボランティアセンターに求められる役割」 <ul style="list-style-type: none"> 災害ボランティアセンター設置シミュレーション研修 災害食ビニールクック（阿賀町赤十字奉仕団協力）の実演 <p>平時より災害ボランティアセンター設置に関する連携・協力を図れるように関係団体との定期的・継続的なつながりの場をつくることが重要だと参加者で確認できた。</p> 県内社協との連携 <ul style="list-style-type: none"> 7月13日 関川村防災フォーラムに参加 10月26日 江南区社協主催の災害ボランティア設置訓練に参加 県北9市町村社協ボランティア担当者会議出席 2月4日 県北9市町村社協合同ボランティアセンター設置研修 災害ボランティアセンター協定締結 <ul style="list-style-type: none"> 12月19日 9月の阿賀町災害ボランティアセンター設置研修後、五泉阿賀青年会議所と「自然災害発生時における災害ボランティアセンター支援に関する協定書」の締結をした。 	<p>参加 39 名 〔内訳〕 行政 3 名 （庶務防災 1・福祉係 2） 赤十字奉仕団 8 名 東蒲ライオンズクラブ 3 名 五泉阿賀青年会議所 4 名 新潟 Iped 1 名 ボランティア運営委員 7 名 社協職員 13 名</p> <p>2 名 2 名 2 回 4 名</p>
---	---

② 多世代に向けた防災教育を推進した。

<ul style="list-style-type: none"> 町庶務防災係と連携した防災講座（DX 推進係含む） 「ハザードマップと日頃の備え」 消防署と連携した防災講座 「安全に避難するには 火災予防 日頃の備え」 防災食ビニールクック講座 協力：赤十字奉仕団による講座 1 か所、食生活改善推進協議会 1 か所、サロン同士交流 3 か所 ボランティア交流会にて高校生ボランティアによる防災ゲームと食推によるビニールクック実施 11月7日 阿賀黎明高校1年生による西地区での防災講座開催 	<p>サロン 5 か所 サロン 5 か所 サロン 5 か所</p>
---	---

IV みんなでつながり、育みあうまちづくり

1. 世代を超えた学び合う場づくり

(1) あらゆる世代が集い、「つながる福祉教育」の推進

- ① ボランティア体験や福祉体験を通じて、活動の意義を学ぶ機会をつくり日常の地域の活動につながる福祉教育を推進した。
- ② 地域や学校、家庭等と連携し、多世代が参加できるように努めた。



学校名	開催日	授業名	時限	内容	人数	講師・協力等
津川小学校 4年	5月8日 5月28日	総合学習	2 2	・「ふくして」講話 ・高齢者疑似体験、車椅子体験 ・視覚障害の理解	18	・ボランティア3名 ・鈴木彩花さん
阿賀黎明高 校1年	5月15日 6月13日 6月20日	阿賀町さい こうプロ ジェクト「福 祉体験」	1 6 1	・ふくして講話 ・訪問する地域を知る ・地域座談会「しゃべり場」でアイスブ レイク実践体験 ・座談会テーマ「食と見守り」 ・振り返り発表	14	・西区 ・当麻区
阿賀黎明高 校2年	7月25日 7月31日 8月21日 8月22日	阿賀町さい こうプロ ジェクト「福 祉体験」		・サロン活動のレクリエーションを企 画 ・サロン未結成地区での集い場を企 画	7	・平堀区 ・谷沢区 ・1区、2区
阿賀津川中 2年	6月26日 6月27日	職場体験	6 6	・施設・事業見学 ・社協でどんなところ？ 体験 ・事業所体験 ・ふれあいいきいきサロン	2	・ふれあいデイ サービス阿賀 ・津川デイサービ ス ・平堀あじさい会
阿賀黎明高 校1年	7月29日 7月31日	阿賀町さい こうプロ ジェクト 夏休み体験		・西区夏野菜カレーづくり ・当麻区 笹団子づくり	4 5	・西区 ・当麻区
津川小学校 4年	7月17日	総合学習	1	・学習発表 ・昔あそび	18	ふれあいDS阿賀 10名
三川小学校 2年	10月9日	総合学習	1	・学習発表 ・昔あそび	13	谷沢地区住民11 名
阿賀津川中 学校2年	10月16日 10月23日 10月30日	阿賀町プロ ジェクト	1 1 2	ボードゲームで地域と交流	5	通所型サービス C4名
阿賀黎明高 校 1年	9月12日 9月19日 10月3日 10月31日 11月7日	ミッション 型職場体験	1 1 1 1 5	・ミッションに対し事業所と対話・協 働し課題解決を学ぶ ・地域で災害への備え避難マップを 作成し、普段の見守りあいの大切さ を学ぶ ・花❀花プロジェクトの実施	14	西地区 津川IDS利用者

学校名	開催日	授業名	時限	内容	人数	講師・協力等
津川小学校 4年	10月23日 11月5日 11月27日	総合学習	1 1 1	・福祉の仕事インタビュー ・高齢者と交流会 ・福祉を学ぶ大学生の話を聞いてみよう	18	ふれあいDS阿賀 実習生
三川小学校 1.2年	1月16日	総合学習	2	・地域の方と一緒に学ぶ (だんごさし)	30	・ボランティア1名 ・民生委員2名
三川小学校 6年	10月22日	総合学習	2	・インタビュー吉津地区 ・高齢者疑似体験 ・高齢者の暮らしを知る	17	・ボランティア4 名
津川小学校 6年	2月17日	キャリア教育	1	・福祉の仕事について	12	
つがわ学童 クラブ	7月16日 9月16日	つながる花 ✿花プロ ジェクト ・しおりづ くり ・弁当配達 体験	4	「花を植えて、育て、押し花をつくり、 作品をつくり、配る」花花プロジェクト を、ボランティアや老人クラブ、地域 のサロンを世代間交流を目的に実施	20	・ボランティア2 名
かみかわ学 童クラブ	7月10日 7月24日 9月26日	・しおりづ くり ・弁当配達 ・事業所訪 問	4		10	・ボランティア2 名 ・上川ディスサービ スセンター
みかわ学童 クラブ	7月2日 7月15日	・しおりづ くり ・弁当配達 体験	4		—	・ボランティア2 名

③ 多世代で地域の課題を共有し「あったらいいな」を創出できる地域座談会「しゃべり場」を開催した。

<ul style="list-style-type: none"> 福祉教育と連携し、多世代で地域の課題を考え、「あったらいいな」を創出する座談会を実施した。令和7年度は阿賀黎明高校の探求学習と連携し、地域座談会を実施した。 	2地区にて実施 ・西区 14名 ・当麻区 9名
<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉活動計画座談会（上川地区）を開催。上川地区区長、民生委員、サロン代表者、活動計画推進委員で、活動計画の実施状況をアンケート形式で聞き取り、今後の取組について話し合った。 	参加者 21名

2. 取り残さず、地域ぐるみで子どもを育むしくみづくり

(1) 子育て世代の集いの場づくり

- ① 多世代が関わるわんぱく☆キッズサロン（子育てサロン）を推進するため、キッズサロンサポーターを養成した。



<ul style="list-style-type: none"> • わんぱく☆キッズサロン事業の継続 • 就学前の親子を対象として親子のふれあい交流の場、子育ての仲間づくりの場づくりとして推進した。 • おやG'sキッチン（夏祭りの屋台への協力）、高清水地区住民から協力（畑の提供、サロンとの交流、おやつづくり協力）、上川（食の集いに関心があるメンバー）でおやつ作り、ヨリミチ（夏祭り屋台への協力）、絵本の読み聞かせボランティア、子育てアドバイザーなど地域のボランティア団体等に協力していただき、多世代交流の場ができた。 • 学生を中心としたキッズサロンサポーターが乳幼児と触れ合い、親子の仲間づくりのサポートする場ができた。 • 阿賀町ボランティアセンター公式 LINE にキッズサロンサポーターに登録してもらい、ボランティア依頼や活動内容を発信した。 	<p>親子は延べ 81 組 (218 名) 参加</p> <p>地域の方延べ 42 名</p> <p>キッズサロンサポーター12名登録 中学生：2名 高校生：10名 延べ活動者 23名</p>
---	--

- ② 子ども食堂実施団体、フードバンクと連携し地域のボランティアをつなぎ、子育て世代の集う場づくりを支援した。

● 子育て地域支援事業の新規助成

<ul style="list-style-type: none"> • 探求学習からボランティアをしたい学生と子ども食堂がつながり、継続した取り組みができています。 • 赤い羽根共同募金を活用した地域子育て応援事業として、子ども食堂の取り組みに助成した。 • 町内小学校に入学する新1年生に体操着袋を寄贈した。 	<p>1件</p>
---	-----------

(2) 子育てサポートの充実

- ① 花いっぱい運動等の世代間交流を通じて、子育てへの関心を深め、地域全体で子育てを支援する意識づくりに努めた。

<ul style="list-style-type: none"> • 花植え活動を通じ、子供と高齢者、事業所と地域の交流促進を図った。 • 育てた花を児童クラブで押し花にして配食サービス利用の高 	<p>12か所 (保育園、小学校、児童クラブ、障害事業</p>
---	-------------------------------------

<p>高齢者へしおりをプレゼントする「花🌸花プロジェクト」の取り組みを実施した。</p>	<p>所、通所介護事業所) ボランティア6名</p>
--	--------------------------------

地域支え合い事業「みんなでささエール」での子育てサポートボランティアの養成は実施しなかった。

<p>• 子育て支援ボランティア登録者はいるが、現在みんなでささエール事業での依頼がなく活動はないが、わんぱくキッズサロンや放課後児童クラブでのボランティアとして活動した。</p>	<p>登録11名</p>
--	--------------

<p>• 10 か月乳児を対象に絵本をプレゼントし絵本を通じて家族や地域の人と交流し孤立しない子育てを支援した。</p>	<p>19名</p>
--	------------

2. 高齢者も障がい者も誰もが活躍できる機会づくり

(1) 老人クラブ等の関係団体との連携

- ① 町老人クラブ連合会事務局として、会員の生きがいづくり、健康づくり活動を支援し、地域支え合い事業「みんなでささエール」の協力会員として活動の推進を図った。



- 老人クラブ連合会リーダー研修会の開催
- 老人クラブ連合会主催ゲートボール大会等でのよびかけ

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • ラジオ体操で健康づくりと地域づくりの推進を目的にリーダー研修会を開催した。 • ゲートボール大会やレクリエーション交流会、花いっぱい運動で多世代交流を行い、会員の生きがいづくりの推進を図った。 • 老人クラブ会員へささエール事業を推進する働きかけができなかった。 |
|---|

② 花いっぱい運動等の世代間交流を継続した。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> • 11月11日 津川小1年生と八幡会 • 11月12日 上川児童クラブと九島こぶし会
三川児童クラブと石間宝寿会 • 11月13日 上川小1・2年生と広谷いやさか会 • 11月17日 ひまわり保育園と三郷交友会 |
|---|

(2) 当事者の想いを伝える場づくり

- ① 福祉教育のなかで障がいや認知症当事者の想いを伝え、だれにとっても暮らし

やすいユニバーサルデザインや心のバリアフリーについて考える場づくりを行った。

- 障害のあるなしに関わらずみんなが暮らしやすい町づくりについて考える福祉教育を実施した。津川小学校では、心のユニバーサルデザインを深掘りした学びを1学期と2学期に渡り実施した。

(3) 当事者団体との連携

- ① 障がいを抱える当事者の会や、親の会（手をつなぐ育成会）の交流の場づくりの支援を継続すると共に、取り組みの見える化・魅力化に努めた

- 町身体障害者福祉協会

- 障害を抱える当事者の会「阿賀町身体障害者福祉協会」で、障害のあるなしに関わらず会員と賛助会員と一緒に交流する機会を設けている。
- 親の会（手をつなぐ育成会）では、美化活動を通して交流の機会としている。

V 安心・安全な介護・生活支援サービスの提供

介護保険事業・介護予防日常生活支援事業

利用者（家族）、介護支援専門員を対象に、「選ばれる事業所になるために」どのような取り組みが求められるのか、アンケート調査を実施し、調査結果の共有を含め、通所介護職員に内部研修を開催し今後必要な取り組みなどを提起した。また、SNS や広報紙を作成・配布し、各事業所の取り組み内容を情報発信に努めた。

しかし、利用者獲得には結びつかず、特に令和5年度以降続いていた収益が大きく減少し、令和8年4月1日に上川高齢者生活福祉センターを地域密着型通所介護に移行、鹿瀬デイサービスセンターは4月末をもって廃止し、3事業所から2事業所体制とし、合わせて人員整理を実施し、経営改善を図った。

【通所介護事業・基準緩和通所型サービス】

《事業目標》

1. 利用者の意欲と持っている力を引き出す自立支援
2. 効果的な機能訓練の実施
3. 地域とつながりをつくり、地域の介護の拠点づくり
4. 職種間の連携を強化したチームワークの向上
5. 職員の資質とサービスの向上
6. 稼働向上への取り組みと安定的な利用者の確保

1. 利用者の意欲と持てる力を引き出す自立支援

津川デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> 塗り絵や手工芸などの創作活動、認知予防プログラムのほか、回想法など取り入れたレクリエーションを実施した
鹿瀬デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> 手作りおやつや家庭菜園、作品作りなどを取り入れ、満足感を高めることで、活動に意欲的に参加するように努めた。
上川高齢者生活福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 日々のプログラム・余暇活動の内容を工夫し、利用者が通う楽しみをつくり、作品作りの達成感や一体感を得ることで意欲を引き出すように努めた。
ふれあいデイサービス阿賀	<ul style="list-style-type: none"> 町文化祭作品づくりなどを取り入れ、利用者の興味・関心を引き出すように努めた。

2. 効果的な機能訓練の実施

各職種の専門性の向上と各種加算の算定を検討した。

(1) 科学的介護推進体制加算（LIFE）

利用者ごとのADL、口腔機能、栄養状態、認知症の状況等の情報を厚生労働省のデータベース（科学的介護情報システム：LIFE）に提出することで、厚労省のLIFEのシステム上で確認できるフィードバックデータを活用して施設のサービスや利用者のケアの質の向上に努めました。

(2) 口腔機能向上加算Ⅰ ※新規

要件に見合う利用者が全体で4名ほどいたが、単独の通所介護事業所では、事務的に非効率が多いこと、口腔・歯科に関する効果が見えにくいことから利用者や家族、ケアマネージャーに加算の妥当性が見せにくいため、導入を見送った。

津川デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> LIFEからのフィードバックを元にサービス計画書を見直し、支援内容の更新をすすめた。
鹿瀬デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> LIFEを活用し、メニューを丁寧に実施した。
上川高齢者生活福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な評価を実施し、利用者・家族のニーズに沿った訓練内容の実施に努めた。
ふれあいデイサービス阿賀	<ul style="list-style-type: none"> 通所型サービスC（3か月間の短期集中予防サービス）を実施し、参加者4名がふれあいデイサービスの新規利用者につながった。 理学療法士による「講習会」を実施し、体操やレクリエーションの質の向上に努めた。

3. 地域とのつながりをつくり、地域の介護の拠点づくり

「阿賀町地域福祉活動計画」と連携し、地域にある事業所として利用者やその家族等の生活を支える支援に努めた。

津川デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> • フェイスブックは10回発信し、事業所の取り組みや活動など定期的な情報発信に努めた。 • 小学生の総合学習、中学生の職場体験、高校生のボランティア活動を積極的に受け入れた。 • 契約時や送迎時など、気軽な声かけから相談をすすめ、利用支援につなげた。
鹿瀬デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> • ふれあいデイサービスをサポートする中で他事業の利用者とのつながり、今後の関わりのきっかけづくりに努めた。
上川高齢者生活福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> • 季節行事にイベントボランティアの参加や、室谷青年団、学童クラブの小学生など、幅広い年代と交流ができた。 • 1月14日に高清水サロンに参加した。
ふれあいデイサービス阿賀	<ul style="list-style-type: none"> • あっとホームすみれの利用者と笹だんご作りで交流会を開催し、数年ぶりに会ったという利用者もいて、喜ばれた。 • 11月に園児と花植えを通じて肩たたきや踊りの披露など、交流しふれあうことができた。 • ボランティアは積極的に呼びかけられず、受入れができなかった。

■ボランティア受入れ・交流活動状況

津川デイサービスセンター	6月27日	職場体験	阿賀津川中学校2年(2名)
	8月28日	慰問	個人(利用者家族)(1名)
	9月20日	マジックショー	Magician RYOTA
	9月29日	敬老会	加賀民謡会(6名)
	9月30日	敬老会	いなば豊とその仲間たち(7名) 御神楽太鼓(1名)
	10月3日	敬老会	合唱団かじか(8名)
	10月9日	敬老会	平堀民謡クラブ(8名)
	10月23日	総合学習	津川小学校4年(23名)
	11月7日	世代間交流	阿賀黎明高校1年花植え(3名)
	11月28日	通所事業所合同	中野小路たかまる
	12月15日	クリスマス忘年会	加賀民謡会(10名)
	12月16日	クリスマス忘年会	津川民謡保存会(10名)
	12月17日	クリスマス忘年会	いなば豊とその仲間たち(7名)

鹿瀬デイサービスセンター	12月16日	クリスマス行事	ハラウ・フラ・オ・ハウオリ (6名)
	12月18日	クリスマス行事	さざ波会 (6名)
	12月20日	クリスマス行事	Magician RYOTA (1名)
	12月23日	クリスマス行事	加賀民謡会 (7名)
上川高齢者生活福祉センター	7月24日	交流活動	上川児童クラブ (7名)
	10月5日	除草活動	宝寿会 (老人クラブ) (20名)
	10月20日	敬老会	いなば豊とゆかいな仲間たち (5名) 御神楽太鼓 (2名)
	10月21日	敬老会	いなば豊とゆかいな仲間たち (5名) 室谷青年会 (5名)
ふれあいデイサービス阿賀	6月19日	笹団子づくり交流	あっとほーむすみれ利用者 (10名) 地域ボランティア (2名)
	6月26日	職場体験	阿賀津川中学校2年 (2名)
	9月25日	敬老会	いなば豊とその仲間たち (5名)
	9月29日	敬老会	加賀民謡会 (8名)
	9月30日	敬老会	いなば豊とその仲間たち (5名) 御神楽太鼓 (2名)
	10月3日	敬老会	合唱団かじか (8名)
	10月8日	敬老会	平堀民謡クラブ (5名)
	10月23日	総合学習	津川小学校4年生 (18名)
	10月23日	校外学習	阿賀津川中学校2年 (5名)
	10月27日	交通指導	津川警察署
	11月11日	世代間交流	上条保育園花植え (23名)
	11月28日	通所事業所合同	中野小路たかまる

4. 職種間の連携を強化したチームワークの向上

津川デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ミーティング等で利用者情報を共有し、利用者に対して職員が同じ対応ができるよう努めた。
鹿瀬デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ミーティングや連絡ノート（事業所内連絡用）を活用し、職員間でもれのない情報共有ができるように努めた。
上川高齢者生活福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 週2回のミーティングにおいて、利用者の情報や業務における問題点を共有し、チーム内で改善に向けた取組みに努めた。
ふれあいデイサービス阿賀	<ul style="list-style-type: none"> ケアマネージャーには小さな変化も報告するなど、丁寧な連携に努めた。 配食サービス利用者には利用日の声かけや、利用時の変化などを情報共有し他部署とも積極的に連携した。

5. 職員の資質とサービスの向上

津川デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> • 研修の復命をミーティングで共有するなど、現場にフィードバックして、業務に反映するように努めた。 • 介護・福祉関係資格の取得を積極的に推奨し、職員1名が介護福祉士を取得した。
鹿瀬デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> • 職種や経験年数に応じて、研修参加ができた。
上川高齢者生活福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> • 専門性の向上とサービス提供に高い意識を持てるよう、職種や経験年数に応じて研修に参加した。
ふれあいデイサービス阿賀	<ul style="list-style-type: none"> • 満足度アンケートを実施し、改善点は早急に検討し、サービス向上に努めた。

6. 稼働向上への取り組みと安定的な利用者の確保

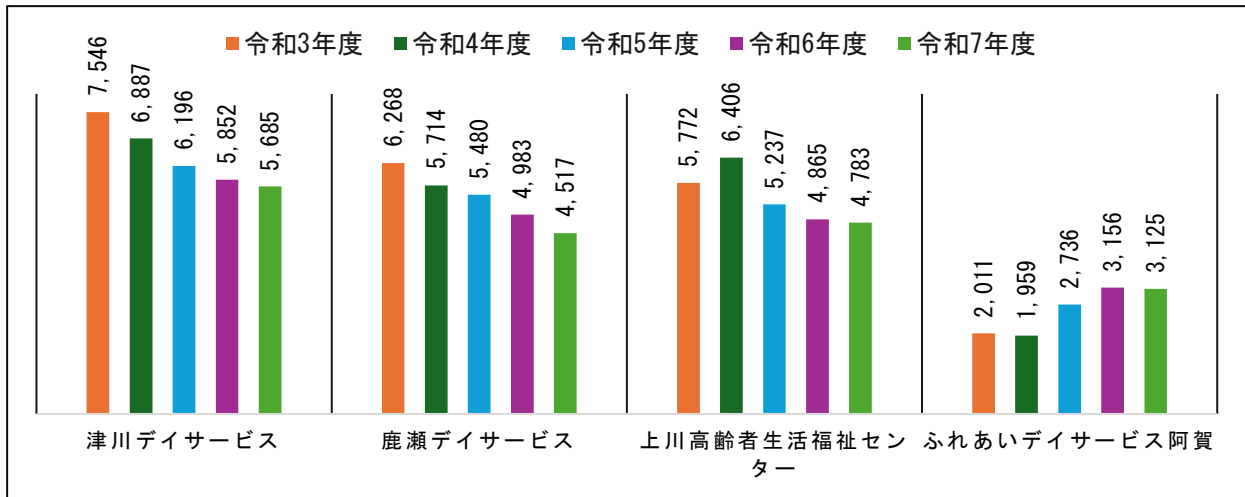
《利用延べ人数と介護保険収入等の推移》

(単位：人・千円)		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
津川デイサービス	延べ人数	7,546	6,887	6,196	5,852	5,685
	事業収入	62,083	61,073	56,449	52,291	45,201
鹿瀬デイサービス	延べ人数	6,268	5,714	5,480	4,983	4,517
	事業収入	56,237	53,963	47,867	44,017	37,655
上川高齢者生活福祉センター	延べ人数	5,772	6,406	5,237	4,865	4,783
	事業収入	57,844	60,207	52,450	48,495	48,433
ふれあいデイサービス阿賀	延べ人数	2,011	1,959	2,736	3,156	3,125
	事業収入	7,385	7,175	9,914	12,398	12,701

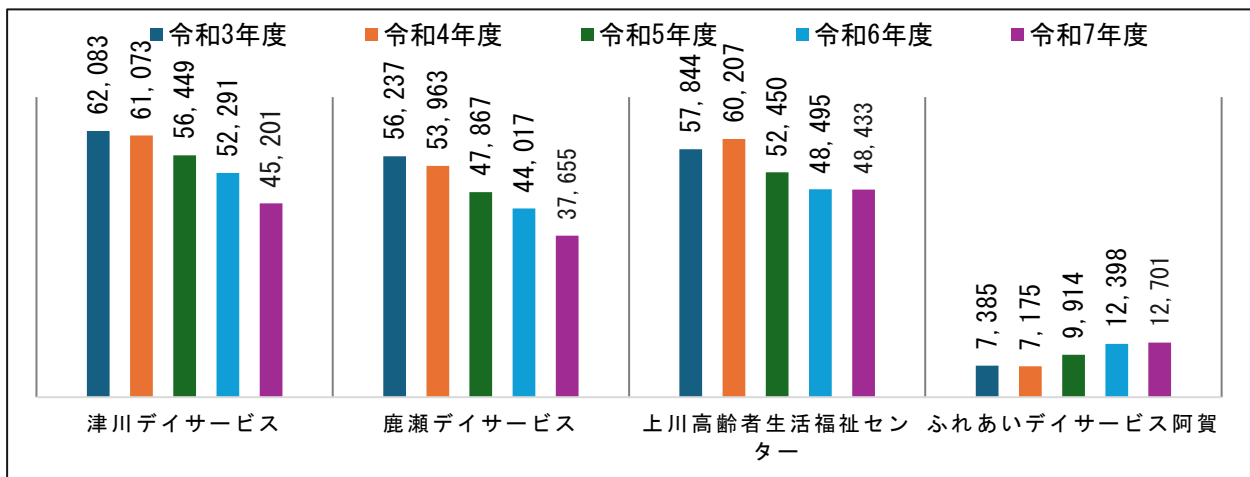
■事業所別新規登録者・登録抹消者状況

津川デイサービス		鹿瀬デイサービス		上川高齢者生活福祉センター		ふれあいデイサービス阿賀	
新規	抹消	新規	抹消	新規	抹消	新規	抹消
23名	22名	18名	15名	20名	22名	15名	15名

■事業所別利用延べ人数の推移



■事業所別介護保険事業収入の推移



津川デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーほか関係機関と連携し、柔軟な受入れや的確な窓口対応に努めた。 ・サービス担当者会議で、柔軟な受入れなど事業所の特色を説明し利用者確保に努めた。 ・「Facebook」に10回投稿したほか、「社協デイサービス通信」を事業所合同で12回作成し、ケアマネージャーに配布して事業所の取り組みを周知した。
鹿瀬デイサービスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネージャーに対して利用者の情報提供を適宜行い、状況に応じて利用回数の変更等を提案した。 ・「Facebook」に11回投稿したほか、「社協デイサービス通信」を作成・配布し、家族や居宅介護支援事業所へ取り組みを周知した。
上川高齢者生活福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族・ケアマネージャーに対して、利用回数増や休

	<p>んだ場合の振替利用を提案した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Facebook」に12回投稿したほか、「社協デイサービス通信」を作成・配布し、家族や居宅介護支援事業所に配布したほか、七福荘に掲示し、事業所の取り組みのPRに努めた。 1月14日に高清水サロンに参加し、事業所活動をPRした。
ふれあいデイサービス阿賀	<ul style="list-style-type: none"> 手作りのゲームや作品作りを取り入れ、町文化祭に出品するなど積極的に行事に参加し、事業の周知を行った。 「Facebook」に11回投稿したほか、「社協デイサービス通信」を作成・配布し、事業所での取り組みを周知して、利用者獲得に努めた。

7. 研修状況

(1) 外部研修等

事業所	日にち	研修名	氏名
津川デイサービス	6月25日	衛生管理セミナー	長谷川洋子 渡部アケミ
	9月2日	リーダーシップ研修	齋藤絵美
	9月26日	町介護サービス事業者集団指導	長谷川久秋
	10月22日	権利擁護と虐待対応研修	渡部泰彰
	10月24日	介護現場のレクリエーション研修	伊藤淳一
	11月14日	見える認知症ケア研修	鈴木理果
	12月9日	県通所介護事業所集団指導	長谷川久秋
	12月15日	認知症ケア研修会	大江幸子
鹿瀬デイサービス	6月17日	福祉職の接遇マナー研修	杉崎陸翔
	7月31日	口腔ケア研修	石川幸子
	7月4日	認知症ケア・対応研修	佐藤幸子
	9月26日	阿賀町介護サービス事業者集団指導	遠藤芳幸
	10月15日	伝える力研修	波田野美佐子
	11月26日	虐待防止と身体拘束防止研修	遠藤芳幸
	12月27日	県通所介護事業所集団指導	遠藤芳幸
上川高齢者生活福祉センター	6月17日	福祉職の接遇マナー研修	渡部愛美
	7月25日	フィジカルアセスメント研修	清野淳子
	7月31日	口腔ケア研修会	清野弥生
	9月2日	リーダーシップ研修	齋藤カツエ
	9月9日	気づく力研修	伊藤美佐子
	9月18日	負担の少ない移動移乗介助研修	長谷川将樹

	9月26日	阿賀町介護サービス事業者集団指導	長谷川将樹
	1月21日	県通所介護事業所集団指導	長谷川将樹
ふれあいデイサービス阿賀	6月5日	安全運転管理者等講習会	清野勝之
	11月14日	見える認知症ケア研修会	清野勝之

(2) 内部研修

事業所	日にち	研修名	人数
津川デイサービス	4月2日	入浴介助加算研修会①	9
	4月9日	個人情報定義に関する研修会	8
	4月16日	事故・緊急対応に関する研修会	8
	4月23日	虐待防止・身体拘束等に関する研修会	8
	5月7日	感染症・食中毒防止に関する研修会	9
	5月14日	BCP 感染症・災害研修	7
	5月21日	災害シミュレーション訓練	8
	5月28日	感染症シミュレーション訓練	8
	9月10日	入浴介助加算研修会②	7
	9月16日	救急講習会（他日程あり）	11
	10月17日	高齢者虐待防止・身体拘束適正化研修	9
鹿瀬デイサービス	9月16日他	救急法	6
	10月17日	高齢者虐待防止・身体拘束適正化研修	7
	1月15日	感染症について	7
	1月16日	ノロウイルス対応のシミュレーション訓練	6
上川高齢者生活福祉センター	4月17日	入浴介助加算に係る研修会	6
	5月20日	事故・緊急対応に関する研修会	7
	7月17日	理学療法士による集団体操研修	1
	8月4日	虐待防止・身体拘束について	8
	10月17日	高齢者虐待防止・身体拘束適正化研修	6
	11月25日	BCP 感染症・災害研修	7
	12月22日	感染症シミュレーション訓練	7
ふれあいデイサービス阿賀	7月19日	利用者個々の生活に役立つ運動機能維持向上研修（講師：理学療法士）	2

8. 訓練

- 感染症の業務継続計画に関するシミュレーション訓練（「(2) 内部研修」参照）
- 災害の業務継続計画に関するシミュレーション訓練（「(2) 内部研修」参照）
- 消防総合訓練（年2回）

9. 主な行事計画

- 計画した月間行事は実施できた
- 事業所合同で「漫談」を楽しむなど、ふだんとは違うものが実施できた
- 事業所ごとに一から企画を立てるのではなく、他事業所と同じ企画を時期をずらして開催するなど、効率的にすすめることができた

10. 各種会議・委員会

《専門職会議》

会議名	開催頻度	
代表者会議	1回/月 第1水曜	12回開催した
看護職連携会議	1回/月 第2水曜	12回開催した
施設長会議	1回/月 第3水曜	12回開催した
主任生活相談員会議	1回/月 第4水曜	12回開催した

11. 各種委員会

会議名	開催日	主な内容
感染症対策委員会	7月1日	夏の感染症対策について
	9月3日	冬季間の感染症対策について
	1月29日	冬季間の感染症対策の評価等について
	3月30日	次年度の委員構成と活動について
高齢者虐待防止検討委員会 (身体拘束適正化委員会)	6月24日	法人内部研修企画について
	7月15日	法人内部研修企画について
	9月9日	法人内部研修企画について
	10月17日	法人内部研修実施
苦情解決委員会	2月20日	・事故・ヒヤリハット発生状況について ・事例報告について
衛生委員会	1回/月	12回開催した

【居宅介護支援事業（ケアプランセンターやまぶき）】

居宅の要介護者が介護保険から給付される居宅サービス等を適切に利用できるよう、要介護者の依頼を受けて、利用するサービスの種類・内容等を定めた居宅サービス計画の作成、事業所との連絡調整等のケアマネジメントを実施した。

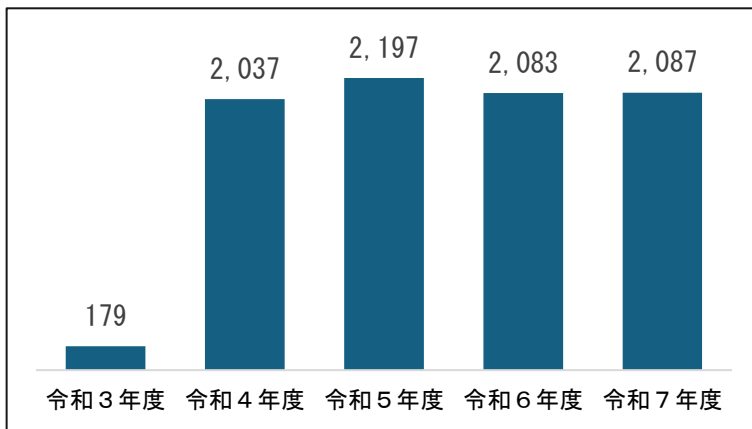
給付管理件数が毎年緩やかに減少しているが、町全体でも要支援1の認定率が高く、新規利用者が増えていない状況のなか、新規利用者の確保よりは、福祉用具レンタルのみの利用者など、すでに関わっている利用者サービス利用を掘り起こすなどに取り組んだ。

《作成延べ件数と介護保険収入等の推移》

区分	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
給付管理件数	179	2,037	2,197	2,083	2,087
事業収入	34,398	29,192	28,702	26,838	25,675
収入対前年比	—	84.9%	98.3%	93.5%	95.7%

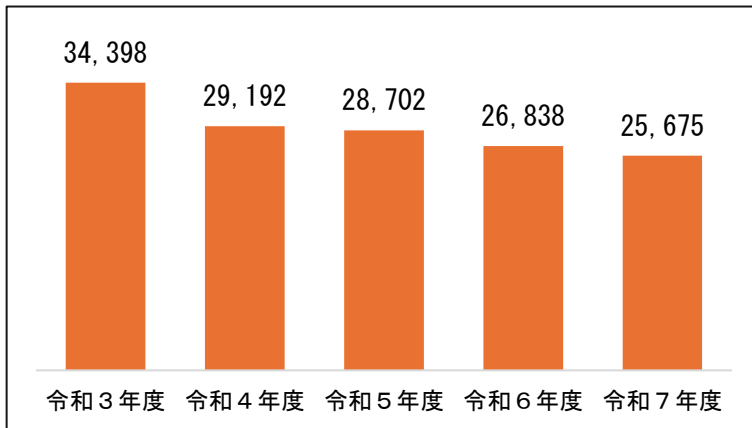
※令和3年度は実人数で、それ以降は給付管理の延べ件数です
 給付管理件数=要介護者+介護予防支援者+介護予防マネジメント

■給付管理件数の推移



※ 令和3年度は
実人数です

■介護保険事業収入の推移



(1) 職員体制と加算の継続

- ・ 介護支援専門員4名体制を維持した。
- ・ 特定事業所加算（Ⅱ）の算定を継続した。
- ・ 利用者が安心して生活できるよう、事業所携帯電話を交代制で所持し24時間連絡ができる体制を確保した。

(2) 業務継続計画（BCP）の整備

- ・ 感染症における業務継続計画を整備した。

- 法人 BCP の作成に伴う災害時の業務継続計画の見直しを予定していたが、法人 BCP の策定が完了していないため、行っていない。
- 緊急時の連絡調整がスムーズに行えるよう、事業所内で担当以外の利用者情報を共有し、担当者不在でも支援を行うことができた。

(3) 職員の資質向上

- 事業内で定期的なケース検討会を開催し、ケアプランや支援経過について共有し、担当者が一人で抱えることがなくなり、支援の方法が広がることで資質の向上につながった。
- 地域包括支援センター主催のケアプラン点検に参加し多角的な視点の支援方法を学び実務に活かした。

■内部検討会

日にち	内容等
4月10日	<ul style="list-style-type: none"> • 役割分担・事務分掌について • 担当の引継ぎについて
5月13日	<ul style="list-style-type: none"> • 通所介護事業における口腔機能向上加算について • 虐待防止の取り組みについて
6月10日	<ul style="list-style-type: none"> • 口腔機能向上加算説明会報告 • ケアマネージャー検討会計画について
7月11日	<ul style="list-style-type: none"> • 業務改善計画（BCP）の取り組みについて • 管理者連絡会報告
9月9日	<ul style="list-style-type: none"> • 経営改善計画及び通所介護事業の今後の取り組みについて
11月11日	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度予算・事業計画について • 経営改善の取り組みについて
12月9日	<ul style="list-style-type: none"> • 来年度の予算・事業計画について • 経営改善の取り組みについて
1月14日	<ul style="list-style-type: none"> • 苦情解決委員会提出事案の検討 • ケアプラン点検の結果報告について
2月12日	<ul style="list-style-type: none"> • 社協通所介護事業所の統廃合・地域密着型への移行について
3月12日	<ul style="list-style-type: none"> • 社協通所介護事業所の統廃合・地域密着型移行について • 来年度の組織体制・収支見込みについて

■外部研修（町主催以外）

日にち	研修名	氏名
4月17日～ 6月4日	主任介護支援専門員更新研修	荒木豊子 長谷川由美
6月27日～ 8月20日	介護支援専門員 専門研修課程 I	加藤 剛
10月14日	新潟水俣病ケアガイド研修	田邊節子
10月22日	阿賀町虐待対応研修会	荒木豊子 長谷川有美
11月20日	介護支援専門員実務者研修実習指導者事前研修	長谷川有美
12月2日	介護支援専門員新任研修会	田邊節子
12月5日	下越地区口腔ケア研修会	田邊節子
12月15日	認知症ケア研修会	田邊節子
1月21日	在宅難病患者等支援者研修会	田邊節子
2月17日	ゲートキーパー養成研修会	田邊節子

(4) 新規利用者の確保

- ・ 初回利用時や必要に応じパンフレット等の資料を使用し説明をした。
- ・ 社協事業所の強みでもある地域福祉係と連携し「みんなでささエール事業」や「日常生活自立支援事業」「法人後見事業」を利用した支援を行った。

(5) 会議・検討会等

会議名	開催日	主な内容
阿賀町介護支援専門員連絡会	4月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括支援センター職員体制について ・ 各種研修計画について
	12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弾力化、通所C利用開始に伴う確認票 ・ 意見交換
居宅介護支援事業所管理者連絡会	6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護報酬について ・ ケアプラン点検について
	11月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所の現状報告とBCP計画について
阿賀町自立支援型地域ケア個別会議	7月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例検討（1事例） ・ モニタリング（1事例）
	9月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例検討（2事例）
	11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例検討（1事例） ・ モニタリング（2事例）
阿賀町介護サービス事業集	9月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護サービス事業者等の指導監督について

団指導		・過去の運営指導の指摘事項について
とうかんケアプランエンター合同事例検討会	7月8日	・事例検討会（7名）
	1月7日	・事例検討会（7名）
法人内部研修	10月17日	・高齢者虐待防止・身体拘束適正化研修（2名）

【通所型サービスB（はつらつ健康クラブ）】

■利用実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用実人数（人）	109	130	172
利用延べ人数（人）	4,353	4,941	5,324
1日平均利用者数（人）	18.6	21.0	22.6
年間開設日数（日）	234	235	235

(1) 利用者の運動機能の向上と職員の資質向上

- ・有酸素運動と同等の効果がある「笑いヨガ」講座を開催した。
講師 村山昭子 様 10月21日 34人 / 10月31日 43人

(2) 主な研修計画

- ・普通救命救急講習に参加した。（年1回）

(2) 行事計画

- ・お花見（4月）：麒麟山河川公園、野中桜
- ・ウォーキング紅葉狩り（10月）：三川きのご園ほか
- ・お楽しみ会（12月）：希望した3組を実施

【役職員・法人事務局研修・会議等参加状況】

日にち	場 所	研修名	出席者
4月16日	ユニゾンプラザ	社会人マナー講座	中野明香
5月28日	ユニゾンプラザ	県共同募金会第1回理事会	阿部会長
6月12日	ほっとHOT中条	法人後見事務研修会	谷垣智子
6月19日	五泉市福祉会館	中東福祉会第1回評議員選任・解任委員会	阿部会長
6月24日	ZOOM	市町村社協地域福祉事業推進に係る情報共有会議	谷垣智子 齋藤陽子 中野明香

6月26日	ZOOM	県社会福祉協議会定時評議員会	阿部会長
7月13日	関川村村民会館	関川村防災フォーラム	斎藤淳也 谷垣智子
7月15日	県ふれ愛プラザ	県身体障害者福祉大会	斎藤淳也
7月16日	ユニゾンプラザ	市町村社会福祉協議会事務局長会議	斎藤淳也
7月17日	ZOOM	日常生活自立支援事業・成年後見制度課長・係長会議	谷垣智子
7月18日	ユニゾンプラザ	県共同募金会第3回理事会	阿部会長
7月24日	五泉市福祉会館	県北9市町村社協災害ボランティア担当者会議	谷垣智子
8月8日	ユニゾンプラザ	県内社協職員連絡会 中間管理職員の集い	谷垣智子
8月8日	ZOOM	新潟県生活支援体制整備事業研修会	斎藤陽子
8月26日	五泉市福祉会館	県北9市町村社協災害ボランティア担当者会議	谷垣智子
9月25日	田上町交流会館	新潟県 多様な居場所活動交流会	斎藤陽子 中野明香
10月9日	ZOOM	日常生活自立支援事業利用料改定等に関する意見交換会	谷垣智子
10月10日	やまぶきの里	あっとほーむたまち地域防災会議	谷垣智子
10月17日	ユニゾンプラザ	生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	谷垣智子
10月22日	町公民館	町虐待防止研修	谷垣智子 加藤裕美
10月23日	ZOOM	災害時における法制度研修会	斎藤淳也 谷垣智子
10月24日	新発田市生涯学習センター	危険物保安講習	江川英継
10月26日	町文化福祉会館	町制20周年記念式典	阿部会長
10月26日	江南区福祉センター	江南区災害ボランティアセンター研修会・設置訓練	斎藤淳也 谷垣智子
11月6日	魚沼市	新潟県民福祉大会	斎藤淳也
11月7日	ユニゾンプラザ	キャリアパス構築支援研修	斎藤淳也
11月27日	新発田市ボランティアセンター	市町村社会福祉協議会事務局長会議	斎藤淳也
1月21日	ZOOM	在宅難病患者等支援者研修会	
2月4日	水原公民館	下越9市町村社協合同災害ボランティアセンター運営研修会	谷垣智子 斎藤陽子 加藤裕美 中野明香
2月5日	ZOOM	日常生活自立支援事業専門員ミーティング	谷垣智子 加藤裕美

2月13日	ZOOM	新潟県生活支援体制整備事業アドバイザー報告会	斎藤陽子
2月17日	やまぶきの里	ゲートキーパー講習会	中野明香
2月21日	関川村農村文化交流センター	関川村社協地域防災支え合いマップ研修会	谷垣智子 斎藤陽子 加藤裕美
2月25日	ZOOM	家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	谷垣智子
3月13日	ユニゾンプラザ	県共同募金会第4回理事会	阿部会長
3月6日	燕三条メッセピア	日常生活自立支援事業専門員スキルアップ研修	谷垣智子
3月24日	ZOOM	日常生活自立支援事業利用料金改定説明会	谷垣智子
3月26日	ZOOM	県社会福祉協議会第2回理事会	阿部会長
3月26日	ZOOM	日常生活自立支援事業利用料金改定説明会	谷垣智子